

## 平成26年度第4回松山地域協議会議事録

- 日 時 平成27年2月18日(水) 午後13時30分～15時50分  
場 所 松嶺コミュニティセンター講堂
- 出席委員 14名
- 1号委員 小野 與一、志田 節子、富 檉 茂、難波 きみ子  
後藤 吉史、門脇 秀行、齋藤 壽子、池田 重悦  
佐藤 玲子、佐藤 正信、遠藤 俊三、村山 安子
- 2号委員 白旗 泉
- 3号委員 日野 健吾
- 酒田市出席者 松山総合支所長 池田 成男  
学区改編推進主幹 大沼 康浩  
建設産業課長 樋渡 由  
建設産業課長補佐 石塚 裕  
地域振興課長補佐 柿崎 弘志  
学区改編推進主査 松田 俊一  
地域振興課長補佐 佐藤 均  
地域振興課主査 石川 亮一
- 欠席委員 1名  
富 檉 一行
- 傍聴者 2名
- 議事日程
- 1 開 会
  - 2 あいさつ
  - 3 議事録著名委員の選出
  - 4 議 事
- 【報告事項】
- (1) 松山地域3小学校の統合について(資料1)
  - (2) 平成27年度松山地域における事業計画について(資料2)
  - (3) 平成27年度松山地域づくり予算について(資料3)
  - (4) 行政組織機構の見直しについて(資料4)
- 【協議事項】
- (1) 国外交流事業について(資料5)
- 5 そ の 他
  - 6 閉 会

### 【協議の概略及びその結果】

松山地域3小学校の統合校の場所について、平成27年第1回教育委員会（1月16日）で議決されたことを受けてその報告と、平成27年度松山地域における関係予算、行政組織機構の見直しについて説明があり、意見交換が行われました。また、「国外交流事」についての協議が行われた。

#### 1. 開 会

佐 藤 委員の皆さん全員揃われましたので、予定の時間より少し早いようですが、ただ今から平成26年度第2回松山地域協議会を開催いたします。本日の会議につきましては、概ね1時間30分程度を目途としておりますのでよろしくお願い致します。それでは、門協会長より挨拶をお願いします。

#### 2. あいさつ

門 協 会 長 皆さん、本日はお寒い中、また、ご多忙のところこのように出席して頂きまして有難うございます。今回の会議の主な協議内容は、平成27年度松山地域における事業計画について、平成27年度松山地域づくり予算についてが主なものとなっておりますので、皆さんには事前に資料が配布されておりますので、内容については各自目を通して検討されていると思いますので、事務局から今ありました目途に沿って、進めていきたいと思っております。それで10月7日の第2回の地域協議会において、協議事項として27年度予算の考え方ということで概要説明は頂いたのですが、その当たりについて、しっかりと協議がされないで、事務局の説明だけで終わりましたので、今日はこの当たりのことを、しっかり進めていきたいと思っておりますので、それではよろしくお願い致します。

#### 3. 議事録署名委員の選出

佐 藤 議事録署名委員につきましては、地域協議会設置条例施行規則第5条第2項及び申し合わせ事項によりまして、今回は富樫茂委員にお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

「異議なし」の声

佐 藤 それでは、富樫茂委員に議事録署名委員をお願いしたいと思います。議事につきましては、協議会設置条例第6条第2項の規定によりまして、門協会長から議長をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

#### 4. 議 事

##### 【報 告 事 項】

門 協 会 長 それでは議事に入らせていただきます。協議事項の国外交流事業について皆さんから御意見をお聞きしたいと考えておりますので、報告事項について出

来る限り簡潔にお願いしたいと思っていますので宜しくお願いします。それでは報告事項の方から進めさせていただきます。それでは最初に松山地域 3 小学校の統合について教育委員会の方から説明をお願いします。

(00:03:20)

大沼主幹 ～資料1に基づき「松山地域3小学校の統合について」説明～

門脇会長 有難うございました。ただ今の説明につきまして、委員の皆さんからご質問等ありませんか。

白旗委員 地域の皆さんの努力と教育委員会の皆さんの努力で、統合にこぎつけたという事でよかったなと思っております。統合の基本方針のところで、私が理解していないものですからお聞きしたいのですが、統合年度を平成 29 年度、平成 30 年度とするのは、早くて平成 29 年度、遅くて平成 30 年度なのか、まだどちらとも決まっていないのか、教えていただけないでしょうか。

門脇会長 はい、教育委員会をお願いします。

大沼主幹 設計がこれからなりますけど、工事の関係と合わせまして、工事期間中に松山小学校で授業をしながらと言いますか、移転せずに工事できるのか、あるいは亀城小学校を造ったときのように、一旦どこかの校舎に仮移転するのか、そういったこともありますので、その辺が見えてくれば 29 年度、30 年度というのがわかってきます。それが決まらないと申し上げられないということで、決めきれないということです。

門脇会長 白旗委員よろしいですか。

白旗委員 わかりました。

小野委員 今後のスケジュールの中で、ソフト面での統合準備委員会を置くとなっておりますが、それは当然必要なことです。統合校を検討するときに、松山小学校の色々な課題について、御意見を申し上げた経過がありますが、細部については詰め切れてない面もあります。子どもたちが安心して教育施設等ハード面についても、意見を吸い上げる場がないのか、お聞きしたいと思います。

門脇会長 はい、事務局をお願いします。

大沼主幹 通常、学校を改築、改修するときに、設計の原案をその地域、保護者の方に示して、導線がどうだとかという意見を頂きまして、技術的に可能であれば見直すとかそういう場は設けております。それが統合準備委員会の場所になるのか、あるいは別の形になるのかわかりませんが、今回の設計、あるいは配置のレイアウト、そういったものは紙の段階で、保護者なり地域の皆様にお示しをして意見を頂く機会は設けて参ります。

門脇会長 有難うございました。それでよろしいでしょうか。

小野委員 はい。

池田委員 池田です。宜しくお願いします。いろんな情報が飛び交っておりますので、確認をしたいと思っております。私の方でもこの間、振興会で集まっているいろんな意

見が出た中で、予算が15億くらいそれについて、更地にして校舎を改築するというお話も出て、それから、それでは補助金が出ないので、少しの教室を残して全体的な改築を行うという話が出ているようなお話も聞いております。今の考え方としてどのようなビジョンをお持ちなのかお聞きしたいと思います。周辺も含めて駐車場あるいは、あそこに山寺コミセンもあるわけですので、ビジョン、構想を教育委員会では持っていると思いますので、それに基づいて設計施工をするのだと思いますので、その辺の大きなビジョンを、こうゆうふうになりますよ、コミセンもなくなりますよ、移転しますよといった考えをお持ちなのか、それとも現状の中で、そのまんま当初の予定のように、その古い30何年間経過したものを解体してその物だけを改築・増築するのかその辺、地域協議会における立場というものを内郷地区ではかなり重視していますので、しかし、ここに内容については報告ということで、特に意見を聞くとか、拝聴をして地域の皆さんに反映するところは全くありませんので、ただ意見を聞くというのみなのでしょうけれども、その考え方をきちっとお知らせいただきたい。

門協会長 教育委員会お願いします。

大沼主幹 改築につきましては、基本の方針としては、現校舎のグランド側の校舎、南側の校舎、建築年代でいいますと松山小学校は昭和34、35年に建築した校舎と、54年建築した校舎がありますけど、グランド側に面した校舎につきましては、解体、改築、残りの校舎につきましては改修致します。プールそれから屋内運動場、体育館でありますけど、それにつきましては両方とも解体のうえ、新しく建てるということであります。コミセンについては、教育委員会の施設でもないということから、連携した話もしていませんけど、今後出てくるのかわかりませんが、教育委員会としてはコミセンを建て替える、建て替えないと言った話はしていないところです。駐車場については、地権者の方とお話をしたわけではありませんけれども、学校敷地外に求めて、購入あるいは借上げという形で整備をしていきたいと、前から申し上げて参りましたが、その方向で向かっていきたいと考えております。

門協会長 池田委員、今の回答でいかがでしょうか。

(00:13:50)

池田委員 具体的に一つの地域の組織のビジョンとして、学校或いはあそこの学校の敷地内では駐車場が非常に狭いというようふうに言われているわけですが、その近辺にコミセンがあるわけですが、森林組合さんもある、あの一角があるわけですが、そのようなところを整地して、奇麗にして学校を新しく整備をして、その敷地内としていく考えは教育委員会では持っていないということですか。

門協会長 はい、教育委員会お願いします。

大 沼 主 幹 教育委員会で決定はしていませんが、森林組合のところは、確かに建物がありますけど、市の底地で賃借と言いますか、お貸ししているところです。契約条件で何年までという取り決めではなくて、1年ごとに申し出るということになっていきますけど、言い方はおかしいんですが、そこは目を付けているところではあります。ただその件で目を付けているということは、教育委員会では考えているということではありますが、森林組合さん、そこを所管する管財課といったところと具体的な詰めた話はしてないというところでもあります。コミセンについては特に教育委員会では考えは持っていないということです。

門 脇 会 長 今回の回答でよろしいですか。

池 田 委 員 もう一点だけお願いします。いろんな考え方がビジョンは、これからだということですが、東部中学校の移転の時にも、学校の生徒さん達の移動に、いろんなトラブル問題が発生しているということを経験すると、小学校で新たな仮設の学校を教室を建てて、行ったり来たりの教育ではなくて、亀城小学校のように、商業あるいはどこかの施設に、きっちりと安全な場所に移転をして工事をして頂きたいとお願いをしたいと思います。

門 脇 会 長 はい、教育委員会お願いします。

大 沼 主 幹 全くそのとおりでありまして、特に小学生ということを考えれば、中学生とは違った配慮、つまり興味のあるような工事現場等があれば、どういった行動をとるか非常に心配で何をするかわからないと言ったこともあります。私どもも可能であれば、亀城小学校のように使いながらではなくて、離れて、工事は工事で進めて行きたいと考えております。出来るだけ安全な方法で考えていきたいと思います。

門 脇 会 長 池田委員よろしいですか。

池 田 委 員 宜しくお願いします。

門 脇 会 長 その他、質問等はありませんか。

門 脇 会 長 ないとすれば、教育委員会の皆さんにはこれで退席して頂くことになります。大変有難うございました。次に（２）平成２７年度松山地域における事業計画について事務局から説明をお願いします

池田支所長及び樋渡建設産業課長

～資料２に基づき「平成２７年度松山地域における事業計画について」及び「平成２７年度松山地域づくり予算について」関連することから纏めて説明～

門 脇 会 長 有難うございました。ただ今事務局から説明いただきました。皆様からこの件について質問等はありませんか。

(00:42:15)

門 脇 会 長 佐藤委員どうぞ。

佐 藤 委 員 農業の９番目６次産業課等推進事業（加工器具借上料）とあるのですが、加

工施設の中に新しい大きい機械がありますが、その利用状況を聞きたいな  
と思います。というのは、JAの女性部の集まりで聞いた限りでは、利用して  
いないようなのですが、状況をまず聞きたいと思います。

門 協 会 長 建設産業課長お願いします。

樋 渡 課 長 フリーズドライとレトルトパックのリース料という内容ですけれども、26  
年度につきましては1件ということで、先ほど説明致しました特産品開発の  
研究会の方で、むきそばを冷凍してみるということで利用しています。加工  
所を利用してグループに聞きますと、利用料金が高いということをお  
かれて、それに時間もかかり作られる量も少ないという話は聞いています。

門 協 会 長 佐藤委員よろしいですか。

佐 藤 委 員 不思議なのですが、たった1件だけ使うような機械でいいのでしょうか。

門 協 会 長 事務局お願いします。

樋 渡 課 長 せっかく機械を導入したわけですので、入れた時に説明会などを行っていま  
すけれども、こういう結果を受けて、利用者を増やすような手立てをしなけ  
ればというふうに思っています。

門 協 会 長 難波委員どうぞ。

難 波 委 員 その機械を入れる時に、誰が使うために入れようとしたのか、その機械が入  
る前の話が全然聞こえてこないで、入ってから使って下さいということでは、  
要望もしないのにどうしてそういうのを入れるんですかという声もあったの  
で、導入前の話がどのようになって機械が入ったのか。

門 協 会 長 事務局お願いします。

樋 渡 課 長 特に松山地区から要望があって、導入したとは聞いていません。農政課の6  
次産業化の事業がらみで、置く場所の選定で加工所の利用という部分で、そ  
ちらにおけば活用されるのかということで、こちらに置かれたのかというふ  
うに認識しています。ただ、利用が少ないということで、今後の活用方策に  
つきましては、より良い方法で活用して頂くような形で検討していきたい。  
いきさつは、6次産業化がらみの中で、先駆けて機械を導入して利用したも  
のです。

門 協 会 長 難波委員、今の説明でよろしいですか。

難 波 委 員 欲しいものは買って貰えないのに、要らないものをどんどん入れるというの  
で反発が多いのです。

門 協 会 長 事務局今の理由わかりましたか。佐藤委員何かあったのでありませんか。

佐 藤 委 員 イメージとしては、あの機械ではないのですが。あれが欲しいんじゃない気  
がします。先駆けてとおっしゃいましたが、私たち女性が使えないような機  
械じゃなく、もう少しアナログな機械がいいのかなと思いました。

門 協 会 長 事務局、今の意見を参考にして頂きたい。他にございませんか。小野委員。

(00:51:34)

小野委員 市民が元気あふれるまちづくりを目指しているわけですが、その中で高齢者が生き生き暮らせる地域を目指すことと、スポーツを振興について柱として掲げていますが、その内容をみると、高齢者が生き生きするというは、財政的にも費用がかからないので、どんどんやった方がいいと思います。ただ26年度の高齢者健康づくり予算をみると、老人クラブに20万の助成のみです。大きな柱を掲げている割には、具体化する内容が少し不足していると思います。もう1点はそれに関連して、生涯スポーツも掲げていますが、実際中身をみるとジュニア親善スキー大会実行委員会への負担金10万だけとなっており、少し物足りないなと思っています。我々とすれば自治会に戻れば、酒田市民体育祭に動員をかけて多くの方から参加してもらおうという努力もしているわけで、そういう点でこの2点について、説明をお願いします。

門脇会長 事務局をお願いします。

池田支所長 おっしゃる大きな柱、これに基づいた予算というものは、この中には含まれておりません。私たちの予算関係で健康づくりにしても、私たちの予算要求する事業を目指しているのは、隙間なのだろうと思っています。大きな柱と大きな柱、これに基づいた予算というのはそれぞれの担当課で作って予算化して行く。私たちはそこにはない、その隙間で私たちにできること、やるべきことを目指していくべきなのだろうと考えておきまして、その中でさきほど申しましたように、高齢者の方がどんどん増えていく、高齢化率が高くなっていくということも踏まえまして、長寿は素晴らしいことなのですが、長寿の中で自分の思うように体が、自分の意思で動けるように、元気で明るくそして、まず外に一緒に出て行って、ロコモ予防にも繋げていきたいということで、隙間としてこういう事業をやっていきましょうということで、地域版というふうに解釈して頂ければ有難いということです。

門脇会長 小野委員、今の説明でよろしいですか。

小野委員 大きな柱は、松山地域づくりに反映して頂きたいと思います。

池田委員 関連して。

門脇会長 池田委員どうぞ。

池田委員 地域づくりということで、内郷コミュニティとほとんど同じくらいの予算しかない現状の中で、11,500千円という小さな予算獲得で御苦労していると思うのですが、私が前にお話ししました生涯スポーツの総合型スポーツクラブのことについて意見をさせていただきましたが、2月14日に松山体育協会が発展的解消ということで、解消の総会「思い出を語る会」を行いました。その中で、宮城松山の交流事業ということで35年を迎えるということでお話がありましたが、そういった交流事業の中では、スポーツとしてソフトボールが交流事業を行っているわけですが、そういったスポーツの予算獲得が全く反映されていないと思いますけど、この隙間というのは、酒田市で当然

今まで歩んできた松山と宮城松山との交流を酒田市では考えていたかは難しいと思っておりますので、その隙間を埋めるというのは、地域づくりの旧松山と宮城松山の交流をこれからも続けるということで話し合っている割には、その事業への取り組み、地域総合型スポーツクラブについての取り組みも反映されていないということについては、非常に予算が少ないという中で、御苦勞をされていることと思えますけれども、もう少しビジョンに沿った事業計画をして頂きたいと思えますけれどもいかがでしょうか。

門 協 会 長 事務局お願いします。

池田支所長 宮城松山の皆さんとの交流につきましては、24年度に宮城松山へこちらの方から100人余りの皆さんがお邪魔して、交流してきたという経過がございました。これが5年ごとに、地域を挙げての大規模な交流をしましょうとの、そういう流れになっていると受け止めておりますが、次にお迎えするのが29年度で、29年度の交流事業の際にどういう交流をしていくのか、その必要経費は予算要求していかなければならないと思っております。

門 協 会 長 池田委員、今のご回答ですがいかがですか。(00:58:40)

池 田 委 員 大きなことで、29年の全体100人規模で私の方に見えられるということなのですが、今現在、今年も宮城松山でソフトボールの選手団が来るということで、当然、自前で歓迎会もやっているわけですが、その辺のことについては全く総合支所では考えていないということでしょうか。

門 協 会 長 事務局今の質問に対してお願いします。

池田支所長 それぞれのスポーツ分野につきましては、民間レベルで御苦勞して頂いていると受け止めております。その中で全体として5年ごとに交流をしましょうと。ソフトボールであったり、グランドゴルフであったり、それぞれの分野で、民間レベルで続けて頂いていると受け止めております。

富 樫 委 員 関連して。

門 協 会 長 富樫委員。

富 樫 委 員 支所長の今の説明は、市としての考え方ということはわかりました。我々市民からすれば、友好都市との交流というのは、ある意味では、かつて行政が取り組んできた流れの一環なのです。そこに参加しているのは、なぜ我々全部個人負担で行わなければならないのかと疑問を持っています。それはすべて団体にお任せですという方針であれば、考え方を改めてほしいというのが我々の要望です。そういうことでは、地域の盛り上がりがりにも支障をきたすし、特に旧松山町との単位でやっているわけですから、たとえば同じ行政の中で、他の旧市町村でやっていることを、実態を教えてもらえればと思います。もし同じような状況であれば、これは我々も一つの考え方として運動しなければならない。地域予算まだ説明がありませんが、行政全体の基本的事業は、市全体の予算で賄うということであればそれはわかります。旧市



町村の中で、全体としては取り組めない特徴ある事業は、地域づくり予算ということになっているわけですから、ある意味では旧町村の遺産的な事業は残していくべきだと、地域づくりの予算の中に位置づけるべきだと私は思います。ですから、予算は内示あったわけですから、変えるわけにならないでしょうから、少なくとも28年度からは、そのような考え方になれるように努力してほしいと思います。

門 脇 会 長 事務局、今の意見に対しましてなにかありますか。  
池田支所長 御意見として受け止めさせていただきますが、私の認識では、前の経過を見ますと、5年ごとの交流をしましょうということで、あとはそれぞれの、先ほどのソフトボールであったり、グランドゴルフであったり、民間レベルでの交流をしましょうと、これは本当に有難いことだというふうに思っています。まさに、歴史が物語っているのだらうなと思っておりますが、そういう経過だったのではないかと記憶しておりますけど、なおもう一度読み返させてもらいたいと、意見として受け止めさせていただきます。

富 樫 委 員 今の支所長の言葉はわかりました。5年毎のけじめのある全体交流は大きくかかる予算であるから行政も出していこうというのはわかりますけど、その後私どもも交流を図る中で、人間ですから毎年交流を図りたいというのが出てきますので、それを無視するというのではなく、いささかの事業予算だと思いますけど、配慮してくれるような考え方、前向きな姿勢を持つべきではないでしょうか。市の考え方がそうですから、それですと終わりにしないでください。新しい前向きな形で考えてほしいと思います。(01:04:08)

門 脇 会 長 そういう意見でありましたので、事務局の方でその当たりの件について検討して頂きたいと思います。はい、村山委員。

村 山 委 員 松山城址館管理運営事業の関連ですが、委託事業としてということですので、委託されてからのことになるかもしれませんが、歴史公園の整備とか城址館が今年開館して、約6億円もかけて立派なものできて、特に旧松山町民としては、この上ない喜びでありまして関係機関に感謝申し上げます。ところで、この施設を活用するのにあたって、芸術文化協会の団体としてはかなり弱小予算なものですから、この利用料が大変気になるところです。でもこれがあまり周知されていないように思います。私の見落とししかもしれませんし、行けば利用料の用紙を頂けるのか知りませんが、まだ1回しか行っていませんでしたので目にしませんでした。見落とししかもしれませんが、今後、城址館の記念事業のパンフレットの片隅でもよいので、知らせていただくと芸文協当たりの各団体とも関心があつて、何回かは使いたいと思いますが、やはり使用料が気になりますので、使用料がわからないと、利用するという意識が湧かないので、なんかの方法で知らせてもらえたら有難いなと思います。

門 脇 会 長 今、村山委員の城址館の利用金のお知らせについて意見がありました。

池田支所長 有難うございます。確かにご指摘いただきましたように、使って下さいとお願いしてまいりました。完成しますよ、内覧会しますよとお知らせしてまいりましたが、確かに言われる通り利用料のほかに冷暖房料がかかるのです、それがいくらですよという金額的な面をお知らせしてこなかったかなということで、ご指摘有難うございます。改めてお知らせしていきたいと思っております。

門 脇 会 長 村山委員よろしいですか。

村 山 委 員 宜しく申し上げます。

門 脇 会 長 白旗委員。(01:08:10)

白 旗 委 員 松山地域づくり事業についてですが、少ない予算の中で、縦長の事業について見せていただいたときに、松山げんき創造事業が27年度要検討ということとなり、松山にぎわい創出事業という大きな事業になり、そしてその予算はというと、青少年国内外交流事業で27年度は受入なので予算が浮くからこれにつけているというように見えるわけです。数字だけ見れば。それについての質問なのですが、松山げんき創造事業がツアー組んで好評だったという話がありました。それが来年度どうなるのかということが一つと、それから、予算の関係で新しくできた松山城址館も含めた、魅力をPRするという7番の事業が、予算的にも継続的に続けていけるものなのか、つまり海外交流事業の予算の大きさに変わっていくのではないかとというのが二つ目、それから三つ目は、7番の27年度の3行目以降なのですが、「松山を訪問する機会を提供し、松山に親しみを持っていただく仕組みづくり」と書いてあるのです。これはすごく大きなことだと思って、これは少ない予算の中で松山地域ができることではないような気がするんですが、どういう仕組みづくりをしていくのか、市全体の予算を使って、たとえば文化スポーツ振興課でツアーを企画するとか、旧三町も含めてですが、そういうことをしていったら仕組みを造っていかないと、なかなか来て下さいと言っても交流人口は増えていかないような気がするんですが、それについての青写真があれば教えて頂きたい。

門 脇 会 長 今の質問について事務局お願いします。(01:10:40)

池田支所長 げんき創造事業がどうなるかということについて、にぎわい創出事業は定期的な市を開催していきたい、それからコンサート等をやっていきたいと申し上げました。その他にご好評を頂いていますげんき創造事業は、今年度事業でホームページに載せると、長いものでも一週間でいっぱいになる位に多くの方に参加して頂いております。その事業は、この事業の中に組み込んで実施したいと考えております。それから2番目として、にぎわい創出事業ですが、国内外交流事業との絡みはあるのかということでしたが、これは別途と私たちは受け止めております。国外が今年は迎える年で予算が減ります

ので、その分でこれをやりたいというふうには考えていません。このにぎわい創出事業は、さまざまな準備が必要ですし、そのための備品も必要です。こういった物を揃えながら、単年度では終わりたくないというふうに思っております。それから3番目は、こうした松山地域のにぎわい創出事業を通して、まず知ってもらおうと、まず来てもらおうと、参加してもらいたい。そうしたことによって、親しみづくりをしていきたい。

門 協 会 長 有難うございました。白旗委員、今の回答でよろしいですか。

白 旗 委 員 大きなお金を動かさないと、なかなかこういういう事業はできないのではないかと。いくら PR しようとしても、限られていることしかできないような気がします。

門 協 会 長 他に。斎藤委員お願いします。

齋 藤 委 員 城址館ができて、いろんなイベントを城址館で行って、コミセンや他の施設が寂しくなる場所もあると思うのですが、そのようなことを支所ではどのように考えていますか。

門 協 会 長 事務局、今の質問でどうでしょうか。宜しくをお願いします。

池田支所長 とにかく賑やかになってもらいたい。そのために何をしたらいいのか、職員が一生懸命考えてくれました。まずやらないと始まらないという気持ちです。ひとつは実施時期もあり、芸術文化祭は10月から11月ですので、その辺のあんばいも配慮しながら実施して行きたいと思っています。

門 協 会 長 はい、志田委員。(01:16:20)

志 田 委 員 松山うめものれん街なのですからけれども、これは松山だけの配布なのですか。

樋 渡 課 長 はい、松山だけです。

志 田 委 員 松山だけ。そうしたならば、遊佐とか八幡とか市街地の人達は来られない訳ですね。何もわからなければ。

樋 渡 課 長 これは、年間計画で計画していたものではなくて、特産品開発研究会の方で上堰のブランドと地場産品を使ったお菓子ができまして、外に PR した方がいいんじゃないかということになりまして、急きょ城址館もできたということで、農家の人達にお話をしまして、地域の方でまだ城址館を見ていないという人もおり興味があるんじゃないかということで、基本は地域の方に来て頂いて、施設を見て頂いて地元にもうまいものがこんなにあるんだということを再認識して頂ければ有難い、ということで急きょ仕組んだイベントで、ホームページには出ているんですが、あとは出展者の檀家と言いますかそういった方々に、それぞれの商店が声をかけて頂いて自分の商品の PR して頂ければということです。小さい産業フェアというように理解して頂ければと思います。基本は地域住民の方が城址館に来て頂いて、この施設を見て頂きたいと思っております。

門 協 会 長 志田委員、今の説明でよろしいですか。

志 田 委 員 これから何回くらい予定があるのですか。

門 協 会 長 事務局お願いします。

樋 渡 課 長 このイベント自体は、「市」との関係もありまして、年間のイベントスケジュールのことを考えた場合、天気が良ければ外でもできるわけですので、こういった時期初めての試みですので、出来れば2月末に皆さん人が集まってくれば定期的な場所として、また、歴史公園の芝生の利用もあると思いますので、その辺は27年度の動きを見ながら、定期的に出来ればよいと思いますし、販売するものも上堰というブランドもできたということですので、それに似合うような商品というか売れるものが出れば、買い物にも来て頂けるのかなという思いがあります。イベントは今年目標を見ながら計画的に行っていきたいと思います。にぎわい創出事業の絡みもありますし、目標は交流人口の拡大ということで、地元の商店の活性化のために、できるだけ数多く仕掛けていきたいと思っています。(01:20:30)

門 協 会 長 はい、有難うございました。はい、斎藤委員。

齋 藤 委 員 人権擁護委員をやっていた時、相談の方が少ないものですから、広報活動としてお店などにチラシを持って行って置かせて頂きました。そうしたら相談者もだいぶ来るようになりました。大変だと思いますが、近辺のお店屋さん、このようなチラシをいついつこんな事業があります、ということで置かせていただければ、少し他町村からも来ると思いますので、そういうことも少し考えて頂きたいと思います。

門 協 会 長 宜しいですか。

樋 渡 課 長 はい。

門 協 会 長 他にないようでしたら・・・。

後 藤 委 員 すいません。一つだけいいですか。

門 協 会 長 後藤委員。

後 藤 委 員 どこでお願いをしようと思っていたのですが、27年度の行政計画の中での説明の関連で要望です。各自治会、コミュニティ、活動していく中で、様々な課題を抱えているという実態があるわけですが、その一つとして、背景にある部分で人口の構成がどういう動向で動いているのか、統計数字の取り扱いについては、纏めて頂いてどのような傾向にあるというお話を頂かないと、把握しづらいということがあります。業務的にはなかなか大変なことだと思いますが、この地域がどう動いているのかという、人口を起点としたデータというもののとりまとめについてお願いをしたいというのが一点です。それから第二点目としては、さきにアンケート調査を実施して地域課題について、地域の方たちがどう考えているのか、集約をして纏めたものの報告を頂きました。それがこの27年度の事業計画の中で、どう反映されようとして

いるのかという部分について、さきのアンケートがどう生かされているのか、あるいはもう少し時間がかかるという説明を頂きたいという要望です。それからもう二つの要望ですが、直接的には酒田市行政ではない訳なのですが、この地域の人々の生活と深く関わっている中で、庄内橋の改修が着々と進み始めています。それから、高規格の酒田余目線の工事も進んできています。予算絡みのこともあっていつまでの完成かというのは、目途を立てずらいところもあるわけですが、全体的な完成を100にした場合、今の進捗状況がどのくらいにあるのか、ということを含めたような情報提供を頂ければ、地域の方々の生活の関わる部分で非常に有難い。かなり関連的な要望ですけれども宜しくお願いしたい。(01:25:20)

門脇会長 事務局、今の質問をお願いします。

後藤委員 今回の要望に回答は無理だと思いますので、お願いです。

池田支所長 人口の動向につきましてはバックデータになりますけれども、非常に残念な状況ですが、自然減と社会減を二つ併せて人口の増減だけをみると、おおざっぱに言って100人位毎年減少しています。松山町が発足したのが昭和30年で、今年で60年を迎えるわけですが、町制が続いていれば町制60周年に当たるものと思います。当時から比べれば半減、確か8千何百人でスタートしたと思います。それが今26年4月で4千、老人施設も含めてですけども4千6百位です。半減近くまで、ここ数年の動きとしましても年間100人前後の減少という状況にあります。そうしたことも踏まえまして、何とかしたいということで、婚活事業をしたいという私たちの思いが行きついたところであります。その過去のデータはございます。将来の見込みというのも前年度に人口統計の推移ということで、今、酒田市の人口が11万人前後が、37年には7万7千人位になるだろうと、これが52年には7万1千人まで減少していくだろうと言われていました。松山地域だけのことではなくて、酒田市し全体の減少が見込まれている。その中で松山地域のデータがある分についてはお示しして行きたいと思います。それから、アンケートの部分ですが、アンケートで私が注目してきたのは、自由記載欄の中でどのような御意見があるのかを注視してきたつもりです。その中では除雪関係や、買い物関係等がありましたが、その中でも割合が大きかったのは除雪関係かと思えます。その中で予算には反映しておりませんが、お陰様でお年寄りの玄関から道路までの除雪対策、民生委員の皆様を中心にいたしまして、カバーして頂いて、幸いにも今年は雪が少なく良かったのですが、雪下ろしの関係もどこの家庭はどういう体制で行けるかという体制も構築されているとっております。(01:30:45)

後藤委員 少し補足させてもらっていいですか。人口統計については、是非基礎データとして松山総合支所として持ってもらいたい。というのは、男女比、10

歳刻みの動向、10歳刻みですと10年移動するとその部分が平行移動してくる、その部分の実態を把握できるような形でのとりまとめをお願いし、データを提供できるような体制をお願いしたい。(01:31:18)

門 協 会 長 他になければ、「(4) 行政組織の見直しについて」を事務局の方からお願いいたします。

池田支所長 ～資料4に基づき「行政組織の見直し」について説明～

門 協 会 長 質問がありましたらわかる範囲で回答して頂きます。(01:38:54)

遠 藤 委 員 はい。

門 協 会 長 遠藤委員、お願いします。

遠 藤 委 員 体育協会の廃止の打合せ時に、酒田の体育課長も出席していましたが、3地区の体育協会が廃止になった後に、地域の体育部門をどうするのかという意見が3地区から出まして、各地区に総合型スポーツクラブがあるものですから、それを行政絡みで面倒を見て立ち上げるということまで話し合ったが、これは今後出てくると思うので宜しく申し上げます。(01:40:23)

門 協 会 長 この件については、回答する状況にないということですので、協議事項に移りたいと思いますが、協議事項の「国外交流事業について」事務局より説明申し上げます。

#### 【協 議 事 項】

池田支所長 ～資料5に基づき「国外交流事業について」について説明～  
(01:49:00)

門 協 会 長 事務局から説明がありましたが、これについて委員の皆様から御意見を頂きたいと思います。今年度は松山地域から4名、平田地区から3名を8月に派遣したわけですが、それについては、学校から報告などはあったわけですか。予算を消化したということだけでなく、結果として何かないのですか。

池田支所長 東部中の先生方には大変お世話になってきました。子どもがたにもご負担をかけて参りましたが、9月に農村環境改善センターで地域の皆さんに国内外交流事業の報告会を行いました。また、体験談についても冊子にまとめて年度内に完成する予定になっています。

門 協 会 長 国内交流事業にも影響してくるのですか。

池田支所長 沖縄に八幡地区で行っていますが、市としては「少年の翼」というのがありますが、今のところは国外交流事業だけです。

(01:53:30)

門 協 会 長 後藤委員どうぞ。

後 藤 委 員 松山中学校との関係になりますが、姉妹校の締結の背景としてお互いにホームステイをしながら交流をしてきた。この経過の部分については大事にして頂きたい。2点目としては、アメリカの意向は伺ってきたと聞いていますが、

それからしますと、こちらの方にお出でになりたいという意向だったと理解をしています。これまで積み上げてきた経過の部分について、単にこちらでやめますよというわけにはいかないで、その辺のところを丁寧に対応して頂きたい。それから実際問題とすると、行きたいという希望の部分で全員が行けるという状況にあります。その背景として今の中学生の方々や家族の方々がどのように受け止めているのかを含めて整理をして頂きたい。地域で交流してきたということについては、丁寧な対応をして頂きたいと要望します。

(01:55:10)

門 脇 会 長 富樫委員。

富 樫 委 員 生徒数が減ってきたという事実は歪めない訳ですけど、「はばたき」と松山でやっている事業との内容も検証しないで、一本化しようとするやり方について憤りを感じます。阿部ひとみ議員が発言している「公平性」について、税金なのだからみんなで等しい参加の機会を与えなさいという論理は全くナンセンスだと思います。税金というものは、厚く薄くというのものもあるわけですから、その論理は全く通じないと思います。事業の評価をしてほしいということです。松山の事業と「はばたき」の良さ、問題点。事業内容を一つにしなければならないという説明が納得できないということが一つ。今、後藤委員からありましたけれども、かつての経過、相手先との紳士的な付き合いをやってきたわけですから、一方的にこちらの平等性が云々、お金があれだからということをやめましたということは、まったく人間性のない話であって、考えが根底にあってももう少し継続して、現実的に困難になった場合にももう少し整理すべきと考えます。片方をやめて片方をしましようというのは、現実的に無理じゃなかろうかと考えます。松山地域としてもその辺はきっちりとした固まった形で考えを示すべきである。それから、合併時の約束事はなかったのか。合併して8~9年たって、合併時の地域の特色ある事業は残していくという約束事が蔑ろになってきている。合併というのは、合理的になって中央集中なるということは、ある程度止むを得ないことではあるが、地域の特色まで蔑ろにするというのは、行政のサービスが低下するということになりますから反対です。ですから強くそこを申し上げたい。

(01:58:10)

池 田 委 員 私も酒田市の協議会というような会議に出させて頂いて、よく合併なったのだから一つに纏めようという意見も松山の議員の中からも出ていますが、今までの教育委員会の考え方としては、地域の特性を生かして継続していくべきだという回答を頂いて、突如とこういうのが出たということは、阿部ひとみ議員がこういう発言をしたからということでしょうけれども、こういう事業というのは、いろんな地域の八幡、平田、松山がそれぞれに持って、海外

に行く事業はこれしかないのかわかりませんが、それぞれの地域ではそれぞれの特徴を活かして、今までの事業は継続して頂きたいというのが大半の意見でありました。それに基づいて今までも、松山については松山の事業としてやりましょうということで、位置付けなってきたと思いますけど、突如とこういうことが出たということは、非常に私も考えが違うのではないかと思いますので、松山の今までやってきた事業については、継続を是非お願いをしたいと思います。

(01:59:50)

門 脇 会 長 白旗委員。

白旗委員 なんとか継続してもらいたいということに賛成なのですが、「はばたき」にしても、松山の事業にしても、それぞれが昔から交流を重ねてきて、作り上げてきたものである。だからそういうものは残してもらいたいというのは当然な考え方だと思いますし、松山地域が地域づくり予算の中で、これを継続して努力しているわけですが、これが地域づくりの事業の一つと考えるとするならば、これは一本化するという論議にはならないのではと思います。海外に中学生を送り出すということについても批判があるのです。「はばたき」も批判があるのです。良いものだということではなくて、一部の中学生だけのものになっているのではないかと、この公平性とはまた違うのではないかと、それぞれの特色をもって地域が努力して、特に松山地域なんかは、距離的にも旧市から離れていて、厳しい地域であるわけです。少子化とか雇用対策とか、その中で頑張っている部分に関しては、一律平等ではなくて、その特色を最大限に活かすような、人づくりも含めて、進めていくのが大事な考え方ではないのかと思います。

(02:02:00)

小野委員 皆さんおっしゃったように、今までの経過もあるわけですので、みな全部一律というのはおかしいと思います。今までお互いの信頼関係の中で構築されてきているわけですから、特別な事情があれば別ですが、その分析もしないで東部中学校を加える、こっちはだめよという論理にはならないと思うのです。さきほど富樫委員も言うておりましたが、事業経過や内容を分析もしないで全て一律とする阿部ひとみ議員の考え方はおかしいと思います。そういう考え方でいくと、今の地理状況からすると、酒田市の市街地との関係で、いろいろ言いたいことも出てきます。そういう特色があってもいいじゃないですか。それで向こうから来た時の内容も反映できるわけで、酒田市全体の教育向上のために必要だと思いますので、継続をお願いします。

富樫委員 はい。

門 脇 会 長 富樫委員。

(02:02:05)



富樫委員 このペーパーは考え方となっていますので、今考えているということですか。  
池田支所長 最初に出てきたのが予算説明の段階でしたので、それはできませんよということでしたが、その後話はなかったのですが、こちらからどうするのですかと確認を入れました。学校教育課長は、「やります」という回答でありました。一方的な考え方のようにです。

門脇会長 他に意見ありませんか。

(02:02:15)

富樫委員 地域づくり予算の運用の仕方について、地域づくり予算は地域の特色を生かした事業に取り組み、相互の負担で行うということだから、裁量は地域に任されていると理解してよいのか、それとも、地域予算が残った経過というのがあり、先ほど言ったように合併の当時、中央で消化できないものは地域予算に残して、地域で頑張るって特色ある事業をやってもらうことが、地域の活性化につながるという説明であったわけで、今はそれが蔑ろにされている。もし、当初の予算の運用の考え方が踏襲してもらえらば、我々の中でそのことを決めると。それから東部中となつての平田との関係で、第2回の協議会の中でも、地域づくり予算の枠取りの問題がどうなるのかと聞いたのですが、曖昧な状態で終わったわけですが、平田地区の生徒が行くとなった場合、双方で話し合いをすべきで、でない論理的に整理ができない。だから地域づくり予算をどのような位置付け、捉えていいのか。海外派遣の中学校の制度上問題があるということと、地域づくり予算に市が関わってくるのか。花づくりも同じことで、市全体でやっているのをやめろということと同じことになってしまう。

門脇会長 他にありませんか。

白旗委員 旧飛鳥中でも田園調布との交流をやっていますね。中学生もかなり絡んでくるようになったと聞いていますが、その辺は平田総合支所の地域づくり予算に反映されているものですか。

佐藤委員 ファームスティの話が出たのでお話しますが、平田のファームスティを受け入れる人たちが、だんだん年をとって受入家庭が少なくなってきたものから、松山地域でも受け入れるようになってきたのですが、その予算がどうなっているのか考えずに私は協力しました。(02:10:15)発展的に継続していくためには、周りの地域も協力することが大事だと思い協力しました。松山当時の海外派遣も、東部中学校になった以上は、松山・平田で子ども達を育てるという気持ちから協力するのがいいのかなと、松山だけ平田だけではできなくなってきているのが現実なのかなと思いました。

(02:12:20)

池田支所長 今、いろいろ御意見頂戴いたしました。頂いたご意見をまとめて、会長さんの方から市長報告する際にお話しして頂きたい。松山の事業はだめよと言っ

ているわけではない。言っているのは、あくまでも東部中をはばたき事業に加えるということしか言っていない。その先がどうなるかというのは、わかりますよねというように、途中までしか言っていない。

後藤委員 宜しいですか。

門脇会長 後藤委員。

後藤委員 この事業の評価をしていきましょうという部分で、付添の職員も含めて、そうして行かないと、こういった問題はクリアできないのかと思いますので、今回も含めて、どういう良さがあるのかということを、きっちり事実から報告できるようにしないと説得力が持たないのかと思います。

門脇会長 有難うございます。

門脇議長 その他にございませんか。ないようですので、これをもちまして議事を終了致します。

事務局 それでは次の「5 その他」について、皆様から何かございませんでしょうか。ないようですので、これをもちまして平成26年度第4回地域協議会を終了させていただきます。

6 閉 会